

なつかしいアシの風景や  
湿原の貴重な植物との出会い

## 浮島ヶ原自然公園

Ukishimagahara Nature Park

### ミニガイド 3月版

企画・制作：富士自然観察の会

かつては「浮島沼」と呼ばれた湿原で  
そこに生きる貴重な動植物に出会えます  
四季折々の動植物を観察してみませんか？

浮島ヶ原の湿原には、環境省レッドデー  
タリストや静岡県版レッドデータブック  
に記載されている貴重な植物が生育して  
います。

そこで、この湿原の貴重な植物群落と自  
然風景を保全し、身近な自然を観察できる  
自然公園として浮島ヶ原自然公園が整備  
されました。サワ  
トラノオやヒキノ  
カサ、ノウルシなど  
の貴重な植物、カワ  
セミやアオサギな  
どの野鳥たち、チ  
ョウトンボやアオ  
モンイトンボな  
どの昆虫など、様々  
な動植物との出会  
いを楽しめる自然  
公園です。



サワトラノオ

# 3月の公園は黄色に染まります

この2種類の花で、地面が黄色に彩られます。(生育場所は裏面をご覧ください)

## ヒキノカサ *Ranunculus ternatus* Thunb. (蛙の傘)

分類: キンポウゲ科キンポウゲ属 保全状況評価: 絶滅危惧Ⅱ類(環境省)・絶滅危惧ⅠB類(静岡県)

水田の畦など、日当たりの良い湿原に生える多年草です。茎は高さ10cmから30cmで、花期は3月後半から4月にかけてです。

和名のヒキノカサは、「蛙(ヒキ)の傘」の意味で、カエルの住むような湿地に生え、茎や葉、花を傘状に四方に広がる様子からつけたものと言われています。分布は関東以西の本州・四国・九州ですが、静岡県では伊豆の一部と浮島ヶ原にしか分布しません。また、伊豆の産地はごく限られていて、浮島ヶ原ほど広い分布域ではありません。

最近の調査をみても、全国的に数を減らしている植物です。



似た花で、ケキツネノボタンも咲きます。(花期は、4月初旬です。)

## ノウルシ *Euphorbia adenochlora* C.Morren et Decne. (野漆)

分類: トウダイグサ科トウダイグサ属 保全状況評価: 準絶滅危惧(環境省)・絶滅危惧Ⅱ類(静岡県)

原野や、川岸の湿地に生える多年草です。3月から4月にかけて黄色い花をつけます。もっとも、花といっても植物形態学的にはポインセチアと同じように苞(ほう)と呼ばれる器官が黄色になって目立つもので、花びらや萼(がく)はありません。花はその中心の小さい部分だけです。茎や葉を切ると白い汁を出し、それが肌につくと人によってはかぶれることもあるため「野漆」の名がつけました。北海道・本州(愛媛)・九州(福岡)に分布し、静岡県では浜松市と富士宮市の記録がありますが、多くは見られません。



乾燥した所では、仲間のトウダイグサも咲いています。見比べてみてください。

浮島ヶ原自然公園のWebサイト・ブログを開設しています。

<http://ukishimagahara.net/> または

[twitter](#) 「@ukishimagahara」

[Facebook](#)もチェック

